

財政金融委員会

委員一覧 (25名)

委員長	藤川	政人 (自民)	徳茂	雅之 (自民)	藤末	健三 (民進)
理事	大家	敏志 (自民)	中西	健治 (自民)	杉	久武 (公明)
理事	長峯	誠 (自民)	松川	るい (自民)	小池	晃 (共産)
理事	三宅	伸吾 (自民)	三木	亨 (自民)	大門	実紀史 (共産)
理事	大塚	耕平 (民進)	宮沢	洋一 (自民)	藤巻	健史 (維新)
理事	平木	大作 (公明)	山谷	えり子 (自民)	渡辺	喜美 (維新)
	愛知	治郎 (自民)	風間	直樹 (民進)	中山	恭子 (日本)
	石田	昌宏 (自民)	古賀	之士 (民進)		
	鶴保	庸介 (自民)	白	眞勲 (民進)		(28.10.18 現在)

(1) 審議概観

第192回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出2件及び衆議院提出1件の合計3件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願15種類147件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律案は、世界経済の不透明感が増す中、新たな危機に陥ることを回避するため、あらゆる政策を講ずることが必要となっていることを踏まえ、消費税率の10%への引上げ時期を平成31年10月1日に変更するとともに関連する税制上の措置等について所要の見直しを行おうとするものである。

委員会においては、消費税率引上げを再延期する理由、再延期後の社会保障の充実・安定化と財政健全化の達成の見通し、軽減税率制度等の円滑な実施に向け中小事業者の事務負担に配慮する必要性

等について質疑が行われ、多数をもって可決された。

金融資本市場をめぐる情勢の変化に対応して金融の機能の安定を確保するための金融機能の強化のための特別措置に関する法律等の一部を改正する法律案は、金融資本市場をめぐる情勢の変化に対応して金融の機能の安定を確保するため、金融機関等の資本の増強に関する措置等の期限延長を行おうとするものである。

委員会においては、金融機能強化法に基づく国の資本参加が中小企業支援に及ぼした効果、銀行等保有株式取得機構が買取りを継続することの是非、保険業法の政府補助規定を延長する趣旨等について質疑が行われ、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律案(衆議院提出)は、国民生活の安定向上及び社会福祉の増進に資するため、休眠預金等に係る預金者等の利益を保護しつつ、休眠預金等に係る資金を民間公益活動を促進するために活用しようとするもので

ある。

委員会においては、発議者を代表して、衆議院議員山本ともひろ君より趣旨説明を聴取した後、休眠預金等を活用する制度の意義、制度の有効性や資金の活用について検証を続ける必要性等について質疑が行われ、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査〕

10月27日、フィンテック（金融とITの融合）の推進に向けた政府及び日銀の取組、研究開発税制の適用実態等を踏まえた見直しの必要性、長短金利操作付き量的・質的金融緩和の下での長期国債買入れの持続可能性、企業の内部留保に着

目した法人税制を設けることに対する財務大臣の所見等について質疑を行った。

11月22日、日本銀行法第54条第1項の規定に基づく通貨及び金融の調節に関する報告書（平成28年6月14日提出）について、黒田日本銀行総裁より説明を聴取した後、長短金利操作付き量的・質的金融緩和と量を重視した従来の金融緩和策との関係、長期金利を操作することによる副作用、長期にわたるデフレを経験した我が国において予想物価上昇率を引き上げる方策、出口戦略における長期金利操作及び日銀当座預金に対する付利金利の引上げの実現可能性等について質疑を行った。

（2）委員会経過

○平成28年10月18日（火）（第1回）

- 理事の選任及び補欠選任を行った。
- 財政及び金融等に関する調査を行うことを決定した。

○平成28年10月27日（木）（第2回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 長短金利操作付き量的・質的金融緩和に関する件、金融と情報通信技術の融合に関する件、研究開発税制に関する件、内部留保に着目した法人税制に関する件、金融行政方針に関する件、経済成長のための財政政策に関する件等について麻生国務大臣、越智内閣府副大臣、大塚財務副大臣、金子総務大臣政務官、武村内閣府大臣政務官、政府参考人、参考人日本銀行総裁黒田東彦君、同銀行副総裁岩田規久男君、同銀行理事桑原茂裕君及び日本郵政株式会社専務執行役原口亮介君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

風間直樹君（民進）、藤末健三君（民進）、大門実紀史君（共産）、藤巻健史君（維新）、

三宅伸吾君（自民）、徳茂雅之君（自民）、平木大作君（公明）、中山恭子君（日本）

○平成28年11月10日（木）（第3回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律案（閣法第3号）（衆議院送付）について麻生財務大臣から趣旨説明を聴いた後、麻生国務大臣、大塚財務副大臣、越智内閣府副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

中西健治君（自民）、松川るい君（自民）、徳茂雅之君（自民）

○平成28年11月17日（木）（第4回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律案（閣法第3号）（衆議院送付）について麻生

国務大臣、越智内閣府副大臣、大塚財務副大臣、豊田内閣府大臣政務官、政府参考人、会計検査院当局及び参考人日本銀行総裁黒田東彦君に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

白眞勲君（民進）、古賀之士君（民進）、藤末健三君（民進）、平木大作君（公明）、大門実紀史君（共産）、藤巻健史君（維新）、中山恭子君（日本）

（閣法第3号）

賛成会派 自民、公明、日本

反対会派 民進、共産、維新

○平成28年11月22日（火）（第5回）

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 日本銀行法第54条第1項の規定に基づく通貨及び金融の調節に関する報告書に関する件について参考人日本銀行総裁黒田東彦君から説明を聴いた後、大塚財務副大臣、会計検査院当局、参考人日本銀行総裁黒田東彦君、同銀行理事雨宮正佳君及び同銀行理事武田知久君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

石田昌宏君（自民）、風間直樹君（民進）、平木大作君（公明）、大門実紀史君（共産）、藤巻健史君（維新）、中山恭子君（日本）

- 金融資本市場をめぐる情勢の変化に対応して金融の機能の安定を確保するための金融機能の強化のための特別措置に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第5号）（衆議院送付）について麻生内閣府特命担当大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成28年11月24日（木）（第6回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 金融資本市場をめぐる情勢の変化に対応して金融の機能の安定を確保するための金融機能の強化のための特別措置に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第5号）（衆議院送付）について麻生国務大臣、古屋厚生労働副大臣、越智内閣府副大臣、大塚財務副大臣、武村内閣府大臣政務官、政府参考人及び参考人日本銀行副総裁中曾宏君に対し質疑を行

い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

中西健治君（自民）、藤末健三君（民進）、平木大作君（公明）、大門実紀史君（共産）、藤巻健史君（維新）、中山恭子君（日本）（閣法第5号）

賛成会派 自民、民進、公明、維新、日本
反対会派 共産

なお、附帯決議を行った。

○平成28年12月1日（木）（第7回）

- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律案（第190回国会衆第43号）（衆議院提出）について発議者衆議院議員山本ともひろ君から趣旨説明を聴き、同上田勇君、同岸本周平君、同山本ともひろ君、同丸山穂高君及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

古賀之士君（民進）、大門実紀史君（共産）、藤巻健史君（維新）

（第190回国会衆第43号）

賛成会派 自民、民進、公明、維新、日本
反対会派 共産

なお、附帯決議を行った。

○平成28年12月14日（水）（第8回）

- 請願第15号外146件を審査した。
- 財政及び金融等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。